



Valuing our communities and cities

2020年10月31日「世界都市デー」に寄せた 国連ハビタット マイムナー・モハメド・シャリフ事務局長メッセージ テーマ： コミュニティと都市の価値

コミュニティは都市やまちの活力です。新型コロナウイルス感染拡大の中にも、コミュニティの貢献には素晴らしいものがありました。都市部が幾十年來となる深刻な経済的・社会的な危機に直面する中、コミュニティは実に様々な方法で人々の安全と健康を守りました。

テレワークを開始してから1,000以上の都市と重ねてきたオンライン会議において、私自身がまず目の当たりにしたのは、自助ネットワークを立ち上げ、最も立場の弱い人々に食料を届け、高齢者に水を運び、最も必要とされることに対して支援者と受益者を繋げるアプリを開発するなどのコミュニティの姿でした。

コミュニティのリーダーや仲間たちは自治体や政府と連携し、検疫を行える場所を探し、仮設クリニックを立ち上げるなど重要な役割を果たしました。

若者や草の根の女性グループは、行動しながら学び、地元ならではの知識を駆使して、最も立場の弱い人々への直接的な支援を継続しました。そのなかで、人々に重要な情報を発信し、エンパワメントをはかる独創的な方法を見出しました。

私たちは100年に一度の最悪な社会経済危機に陥っています。民間企業等と協働して代替生計の手段を見出すコミュニティの活動家たちに感謝しています。

特にインフォーマル居住区やスラムにおいては、コミュニティが重要なセーフティネットを提供しますが、彼らの価値観は単に緊急対応支援にとどまりません。

「世界都市デー」を機に、コミュニティを、自らの長期的解決策を策定する中心に据えることを認識しなければなりません。未来のレジリエントで公平な都市を築くために、彼らの現場の声に耳を傾けなければなりません。

コミュニティは自治体や民間企業、ヘルスケア、教育や他のサービスとパートナーシップを組み、彼らの知識やスキルを最大限生かすことができます。コミュニティの価値を認識することは、「より良い復興」や「よりグリーンな復興」のために我々に必要な変化の重要な第一歩となるでしょう。

「世界都市デー」に際し、コミュニティのリーダーやコミュニティの存在の価値を共に認識しましょう。彼らの貢献を認識するに留まらず、彼らの機会を広げるためのネットワークを開拓・共創・資金支援することにより、「持続可能な開発に向けた行動の10年」は達成できるのです。

